



2015 年 1 月 20 日

BMW i3 が CAR GRAPHIC AWARD 2014 を受賞。

電気自動車 BMW i3(アイ・スリー)が、株式会社カーグラフィック(代表取締役社長: 加藤 哲也)発行の自動車誌 CAR GRAPHIC(編集長: 渡辺慎太郎)が選ぶ CAR GRAPHIC AWARD 2014(2015 年 2 月号掲載)において、大賞を受賞した。

CAR GRAPHIC AWARD 2014 は、CAR GRAPHIC の 2014 年 1 月号から 12 月号で試乗したモデルの中からベストの 1 台を決めるものである。2014 年は、スーパースポーツ、電気自動車、ハイブリッドのミニバンや SUV、プラグイン・ハイブリッド・スポーツ、さらに実用的なディーゼル・モデルと、国産、輸入車ともに、多くのニュー・モデルが登場したが、BMW i3 は、革新的なコンセプト、CFRP 製のパネルの採用、RR の駆動方式の採用等が評価され、並みいる強豪を押さえ、その大賞の栄誉に輝いた。

BMW i3 について(数値は参考値)

- 最大出力 125kW/170ps、最大トルク 250Nm を発生する電気モーターおよび総電力量 22kWh のリチウムイオン電池を搭載し、7.2 秒の 0-100km/h 加速をゼロ・エミッション走行で実現。
- 一回の充電で、約 160km までの走行が可能。走行モードを ECO PRO(エコ・プロ)モードにする事により約 180km、ECO PRO+(プラス)にする事により約 200km まで航続距離を延ばす事が可能(実用走行を想定した BMW 社内基準)。
- レンジ・エクステンダー(発電用エンジン)搭載モデルにおいては、航続距離を約 300km まで延ばす事が可能。
- 日本仕様の BMW i3 は CHAdeMO(チャデモ)方式の急速充電に対応している。急速充電の利用により、約 30 分で 80%充電が可能となる。通常使用する自宅や勤務先での普通充電の場合は、約 8 時間で満充電となる。
- 車両寸法は日本の機械式駐車場の利用が可能となるよう、全幅 1,775mm、全高 1,550mm を実現。
- 2014-2015 日本カー・オブ・ザ・イヤーにおいて、10 ベスト・カーおよびイノベーション部門賞に選出。

CAR GRAPHIC(カーグラフィック)について

故小林彰太郎を中心とするクリエイターたちにより、1962 年に創刊された自動車専門誌。クルマの性能を正しく客観的に評価するレポートとグラフィカルな誌面構成は、国内のみならず海外でも高い信頼を得ている。編集者自らが執筆も担当する「編集記者」という独自の制作手法、テストコースやサーキットを占有走行し計測機器を使ったデータの収集・解析、実際にクルマを購入して日常の使い勝手や経年変化を観察する長期テストなど、「CAR GRAPHIC でしか読めない記事」の掲載にこだわっている。